

2015年3月期 第3四半期 決算説明資料

ブラザー工業株式会社

2015年2月4日

当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確実要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

連結決算の概要 <2015年3月期 第3四半期累計実績>



単位：億円

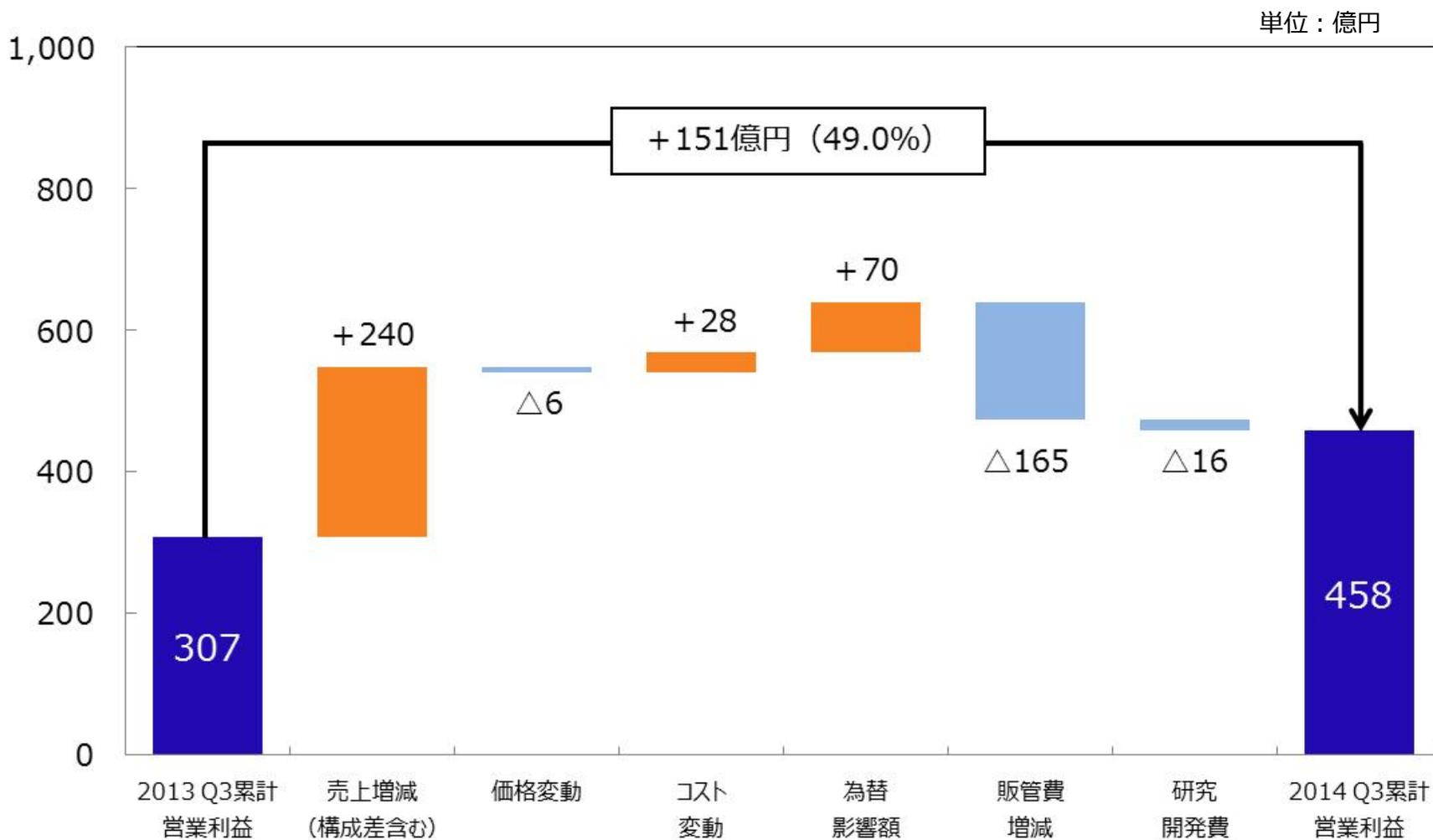
	第3四半期 9ヶ月累計			
	2015/3 3Q(累計実績)	2014/3 3Q(累計実績)	増減額	増減率 ()は為替影響を 除いた増減率
売上高	5,214	4,518	696	15.4% (10.4%)
営業利益	458	307	151	49.0%
営業利益率	8.8%	6.8%	2.0%	
営業外損益	△ 34	△ 66	32	
経常利益	424	241	183	75.6%
特別損益	152	1	151	
法人税他	96	124	△ 29	
四半期純利益	481	118	363	307.8%

単位：円

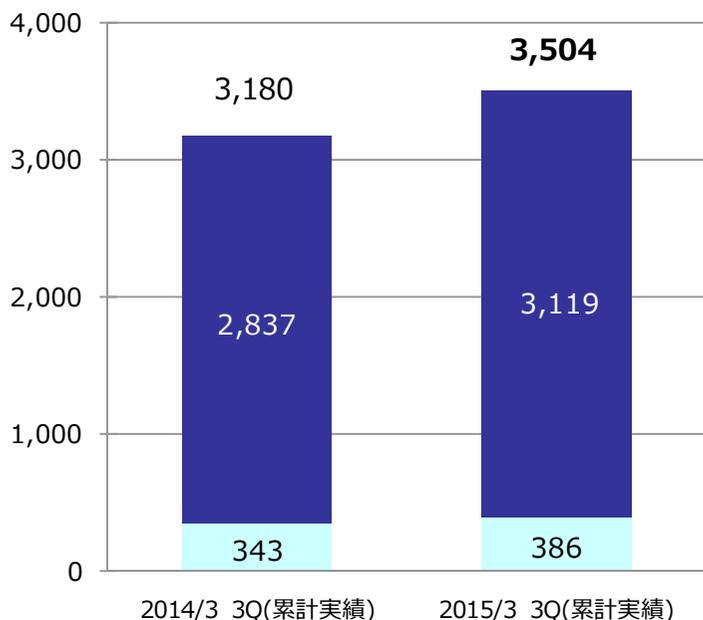
換算レート	USD	107.27	99.23	8.04
		EUR	140.50	132.13

- ✓ 売上高は、産業機器が好調なM&S事業の業績拡大や、為替の円安効果により、増収となる
- ✓ 営業利益は、好調なM&S事業の増収効果に加え、為替の円安効果も加わり、増益となる
- ✓ 四半期純利益は、固定資産売却益や税効果会計の影響などもあり、大幅な増益となる

営業利益増減要因 <2015年3月期 第3四半期累計実績>



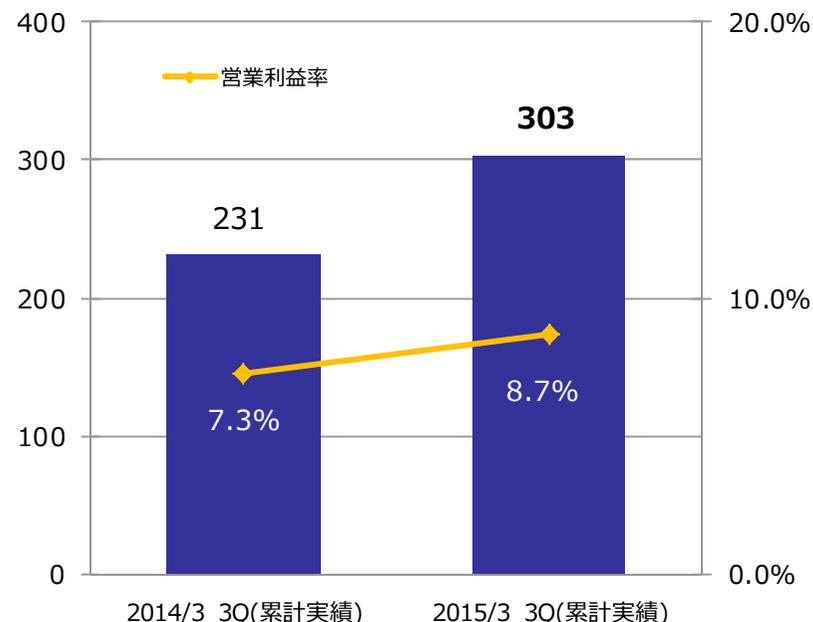
売上高 (億円)



増減率 (為替影響除く)

通信・プリンティング機器	+9.9% (+4.4%)
電子文具	+12.5% (+6.2%)
合計	+10.2% (+4.6%)

営業利益 (億円)



通信・プリンティング機器 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 3Q累計実績	2015/3 3Q累計実績	増減率(為替影響除く)
米州	1,126	1,234	+9.6% (+3.3%)
欧州	950	1,041	+9.7% (+3.1%)
アジア他	436	527	+21.0% (+15.5%)
日本	326	316	△3.1% (△3.1%)

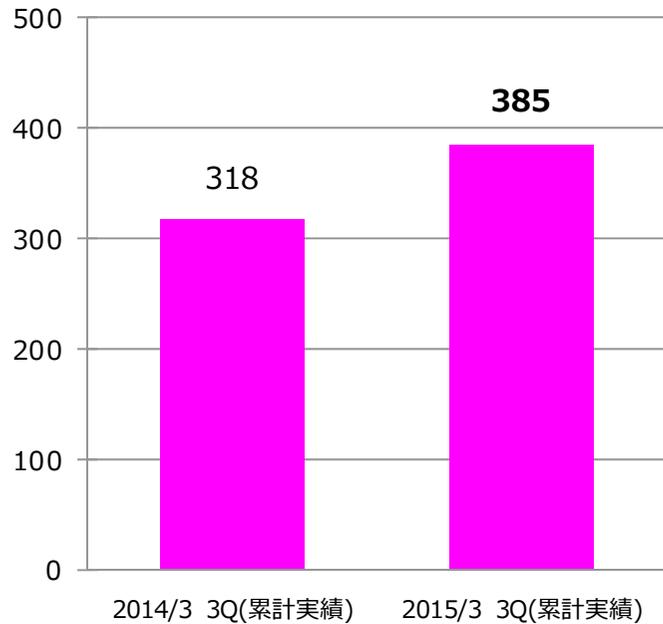
電子文具 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 3Q累計実績	2015/3 3Q累計実績	増減率(為替影響除く)
米州	162	185	+14.3% (+7.2%)
欧州	104	116	+11.6% (+4.5%)
アジア他	47	60	+27.3% (+21.4%)
日本	29	24	△17.6% (△17.6%)

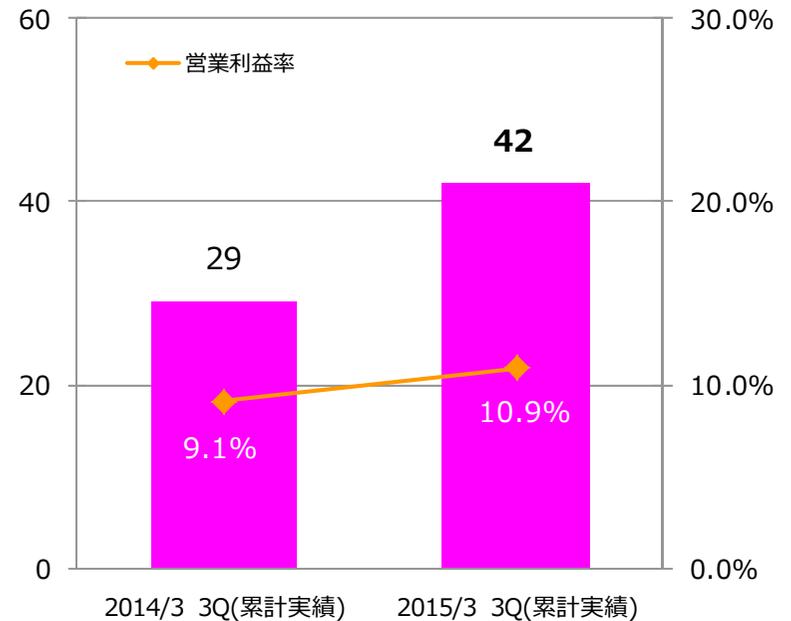
- アジア他地域で、製品本体が堅調に伸びたほか、各地域とも消耗品が堅調に推移。日本は、消費増税の反動減による需要低迷が続き、前年割れの水準となる。
- 営業利益は、販売管理費の増加が圧迫要因となったものの、増収効果および為替のプラス影響により、増益となる

※当期における連結範囲の変更に合わせて、前期まで「日本」で表示していた数値の一部を、「アジア他」へ組み替えて表示しております。

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



増減率 (為替影響除く)

家庭用ミシン
+21.1% (+14.2%)

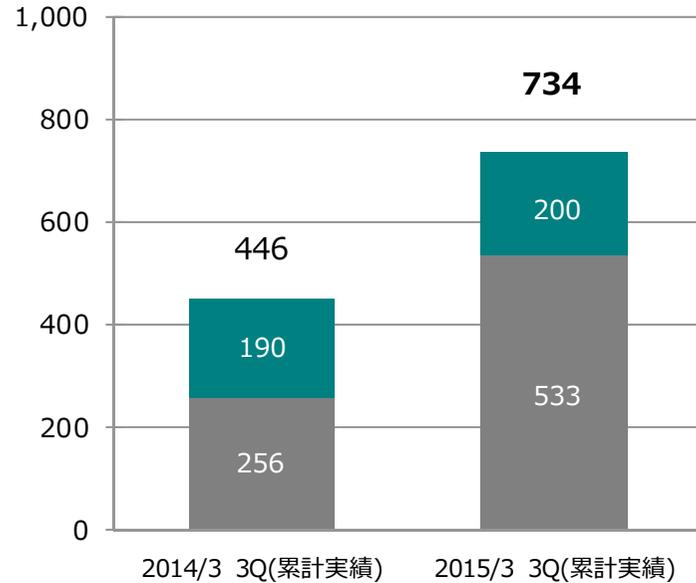
家庭用ミシン 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 3Q累計実績	2015/3 3Q累計実績	増減率(為替影響除く)
米州	175	226	+28.9% (+20.0%)
欧州	76	83	+8.8% (+2.7%)
アジア他	35	45	+29.8% (+24.8%)
日本	31	30	△2.3% (△2.3%)

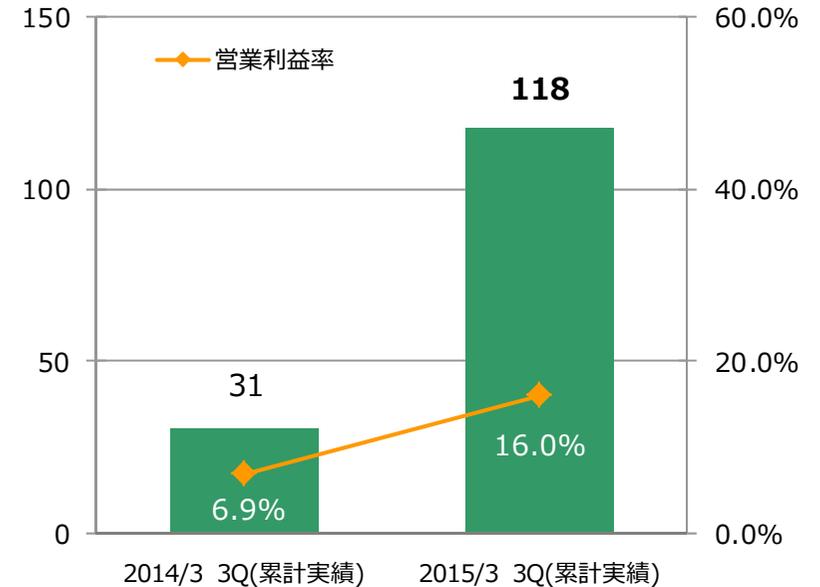
- 売上高は、高級機の新製品効果もあり、米州での売上が好調に推移
- 営業利益は、増収効果に新製品効果も加わり、大幅増益となる

※当期における連結範囲の変更に合わせて、前期まで「日本」で表示していた数値の一部を、「アジア他」へ組み替えて表示しております。

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



増減率 (為替影響除く)

工業用マシン	+5.3% (△1.4%)
産業機器	+108.1% (+103.9%)
合計	+64.3% (+59.1%)

工業用マシン 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 3Q累計実績	2015/3 3Q累計実績	増減率(為替影響除く)
米州	35	40	+15.2% (+7.7%)
欧州	27	32	+19.4% (+12.7%)
アジア他	124	123	△0.5% (△7.4%)
日本	5	5	+6.4% (+6.4%)

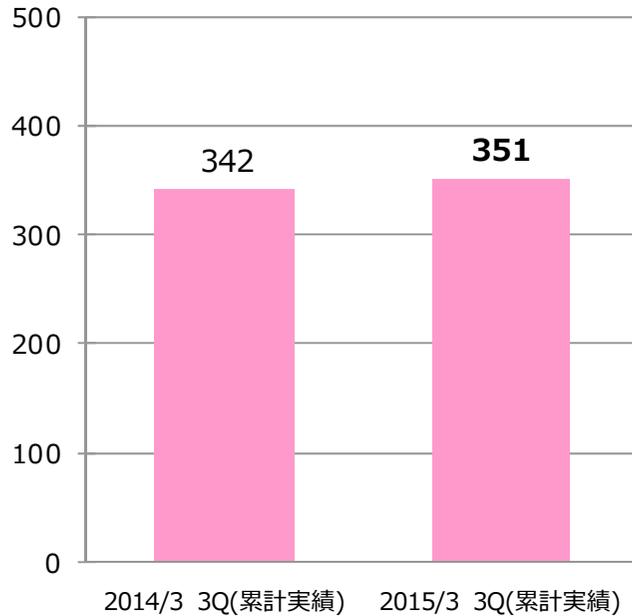
産業機器 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 3Q累計実績	2015/3 3Q累計実績	増減率
米州	16	22	+34.2%
欧州	12	18	+58.0%
アジア他	200	451	+125.1%
日本	28	43	+50.4%

- ▶ 工業用マシンは、東南アジア及び欧米の縫製産業の設備投資需要の拡大はあるものの、中国の需要低迷の影響が大きく、実質では前年比微減となる
- ▶ 産業機器は、IT関連顧客の需要拡大や、自動車関連顧客への販売強化の効果もあり、大幅な増収となる
- ▶ 主に産業機器の増収に伴い、大幅な増益となる

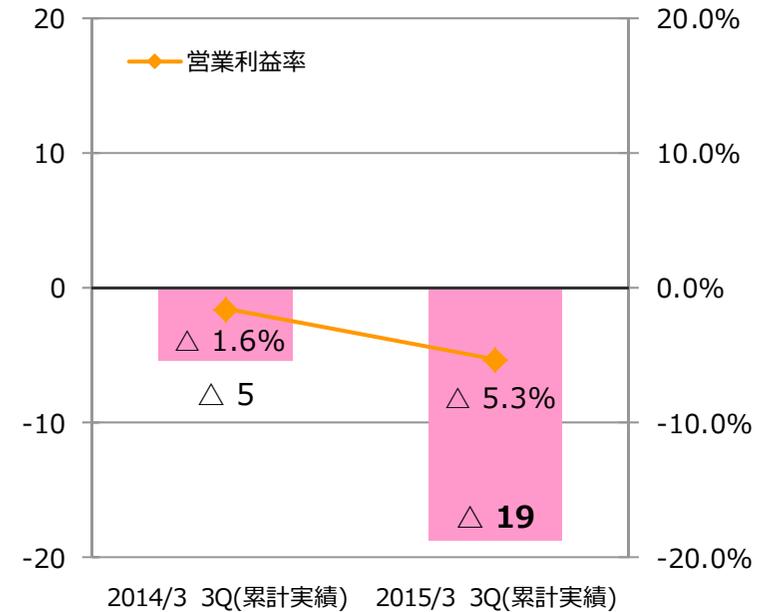
※産業機器については、主に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

売上高 (億円)



営業利益 (億円)

増減率
N&C事業
+2.8%



- 売上高は、カラオケ店舗の運営事業は堅調なもの、通信カラオケ機器の需要サイクルの影響もあり、前年比微増となる
- 営業利益は、機器販売の減小に加え、開発費などの費用の増加の影響もあり、赤字が拡大

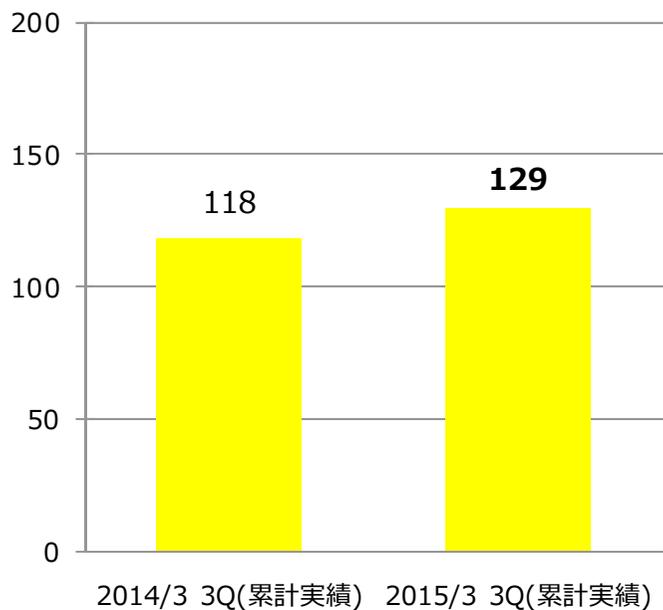
※ネットワーク&コンテンツ事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

工業用部品事業 売上高・営業利益

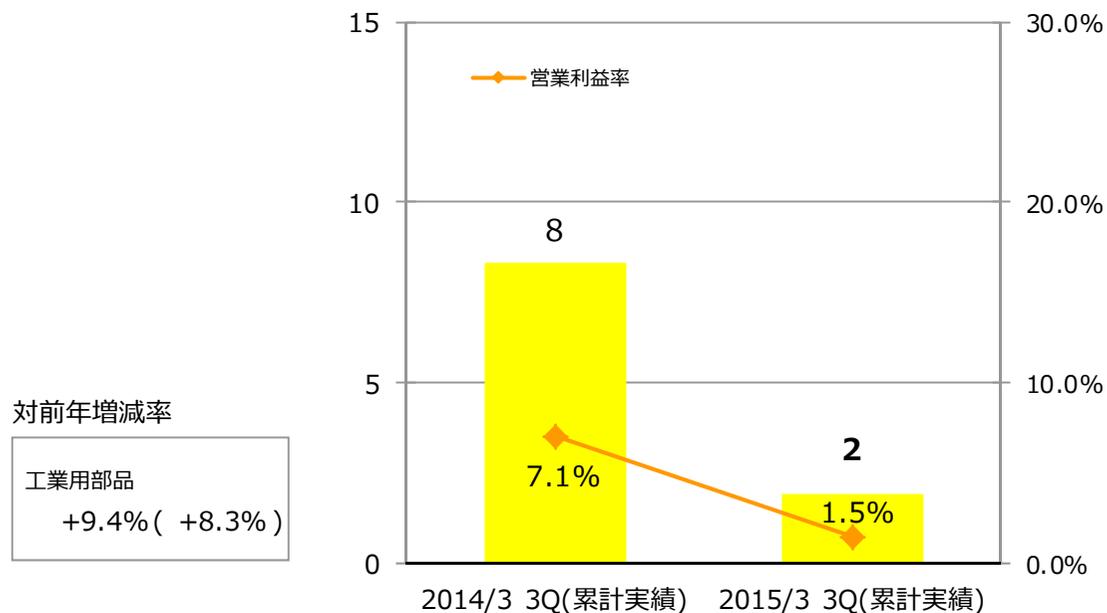
<2015年3月期 第3四半期累計実績>



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



対前年増減率
工業用部品
+9.4% (+8.3%)

工業用部品 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 3Q累計実績	2015/3 3Q累計実績	増減率(為替影響除く)	
米州	15	17	+17.6%	(+9.2%)
欧州	0	0	-	(-)
アジア他	0	3	-	(-)
日本	103	108	+4.9%	(+4.9%)

- 売上高は、日本での需要が堅調なことに加え、北米での販売強化もあり、順調に拡大
- 営業利益は、償却費などの費用の増加の影響などにより、減益となる

2015年3月期 業績予想



単位：億円

	2015/3 予想 (A)	2014/3 実績 (B)	増減額 (A - B)	増減率 ()は為替影響を 除いた増減率 (A/B - 1)	2015/3 前回予想 (11/4発表) (C)	増減額 (A - C)
売上高	7,100	6,168	932	15.1% (10.4%)	7,000	100
営業利益	550	433	117	27.0%	530	20
営業利益率	7.7%	7.0%	0.7%		7.6%	0.2%
営業外損益	△ 35	△ 77	42		△ 40	5
経常利益	515	356	159	44.6%	490	25
特別損益	145	△ 21	166		145	0
法人税他	125	143	△ 18		125	0
当期純利益	535	192	343	178.3%	510	25

単位：円

換算レート	USD	109.48	100.00	104.54
	EUR	139.35	134.01	138.64

前回予想からの主な変更点

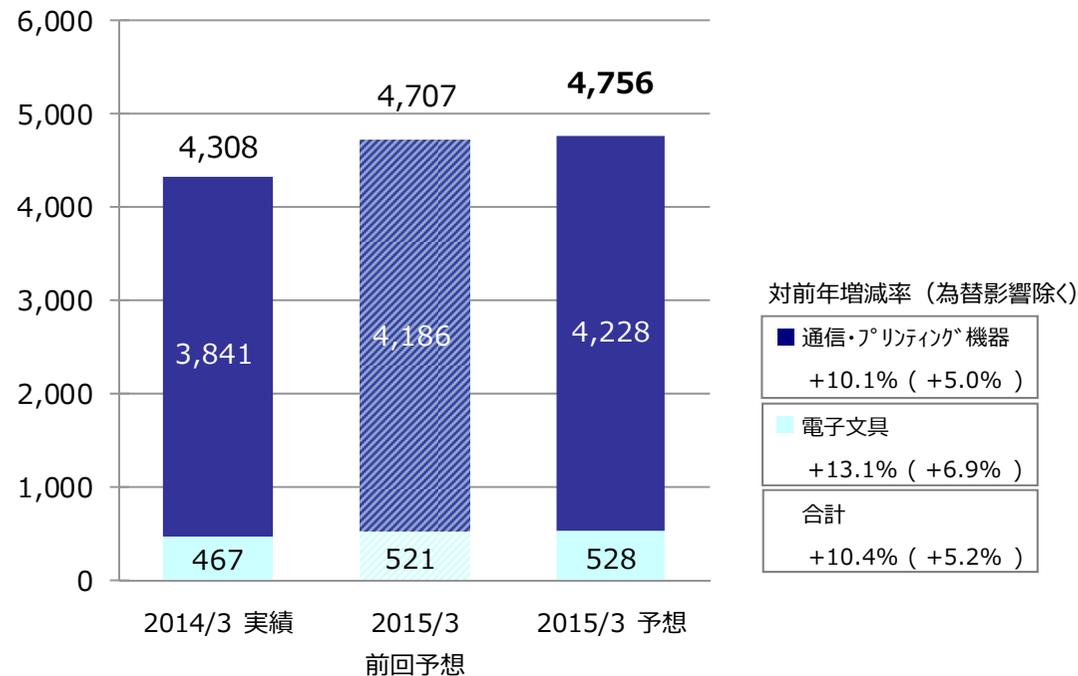
- ✓ 為替の前提レートを1ドル=105円から115円、1ユーロ=138円から130円に変更
- ✓ 中国におけるIT関連産業向けの需要拡大に伴い、産業機器の見通しを引き上げ
- ✓ 通信・プリンティング機器は、欧州を除く各地域の見通しを引き下げ
- ✓ 足下の状況を鑑み、工業用マシン、N&C事業、工業用部品事業の見通しを引き下げ

プリンティング & ソリューションズ 事業

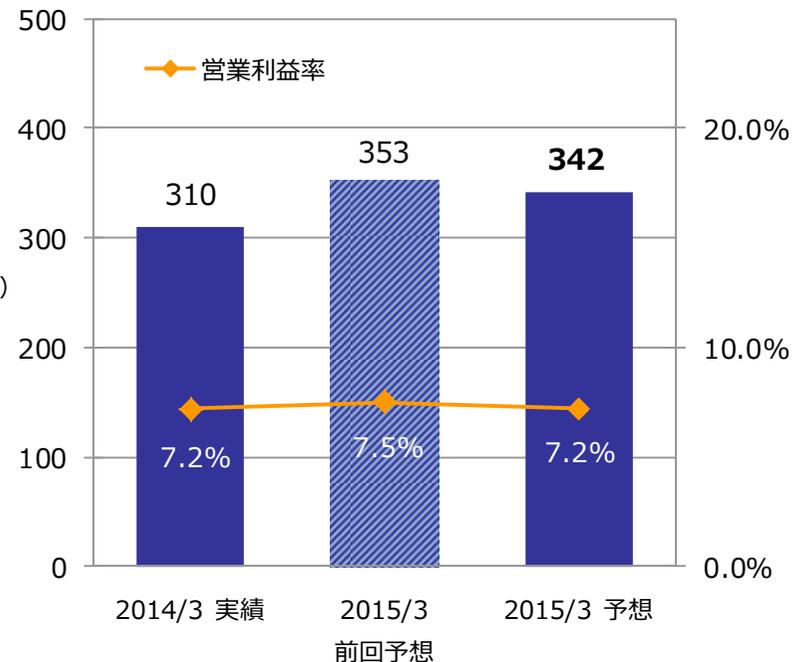
売上高・営業利益 <2015年3月期 通期予想>



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



通信・プリンティング機器 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 実績	2015/3 前回予想	2015/3 予想	対前年増減率 (為替影響除く)
米州	1,504	1,654	1,681	+11.8% (+5.2%)
欧州	1,327	1,402	1,413	+6.5% (+2.2%)
アジア他	579	694	704	+21.5% (+15.1%)
日本	431	436	430	△0.3% (△0.5%)

電子文具 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 実績	2015/3 前回予想	2015/3 予想	対前年増減率 (為替影響除く)
米州	216	246	252	+16.6% (+8.7%)
欧州	147	159	161	+9.5% (+4.2%)
アジア他	62	77	77	+23.8% (+18.7%)
日本	42	39	38	△8.6% (△11.4%)

前回からの変更点

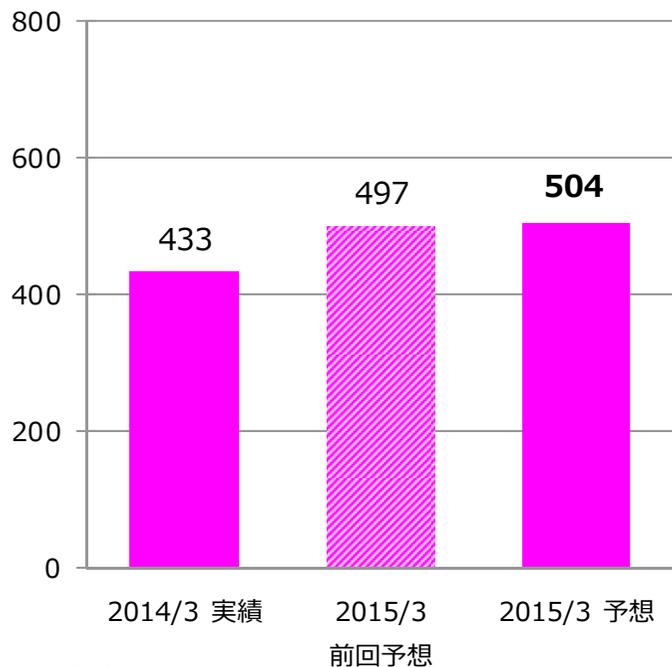
- 売上高は、欧州を除く各地域において、主に製品本体の販売見通しを引き下げ
- 営業利益は、主に為替の前提レートの変更による影響を織り込み

※当期における連結範囲の変更に合わせて、前期まで「日本」で表示していた数値の一部を、「アジア他」へ組み替えて表示しております。

パーソナル&ホーム事業 売上高・営業利益 <2015年3月期 通期予想>

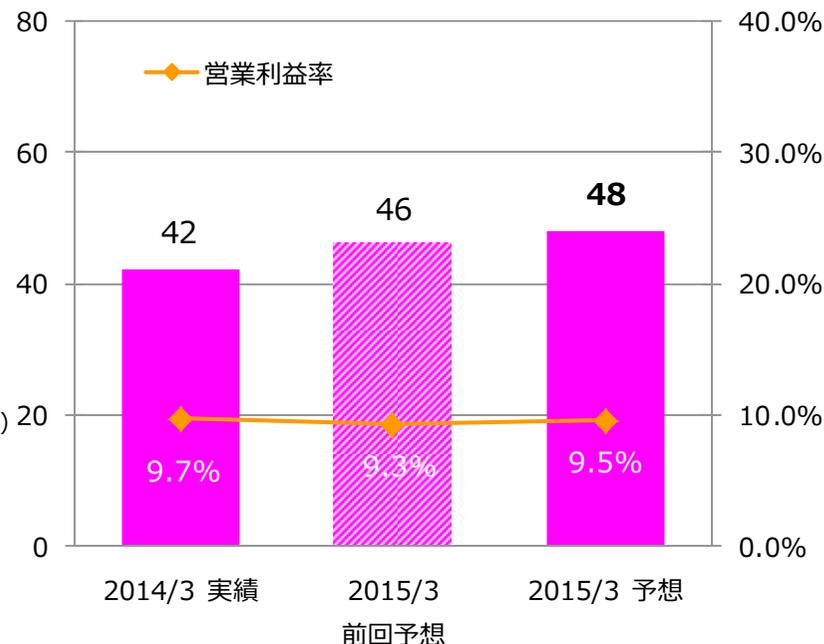


売上高 (億円)



対前年増減率 (為替影響除く)
家庭用ミシン
+16.5% (+10.2%)

営業利益 (億円)



家庭用ミシン 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 実績	2015/3 前回予想	2015/3 予想	対前年増減率 (為替影響除く)
米州	229	276	285	+24.5% (+15.8%)
欧州	107	110	110	+3.0% (△1.9%)
アジア他	46	58	60	+29.2% (+23.8%)
日本	51	53	49	△3.1% (△2.2%)

前回からの変更点

- 売上高は、欧州及び日本の販売見通しを引き下げ
- 営業利益は、主に為替の前提レートの変更による影響を織り込み

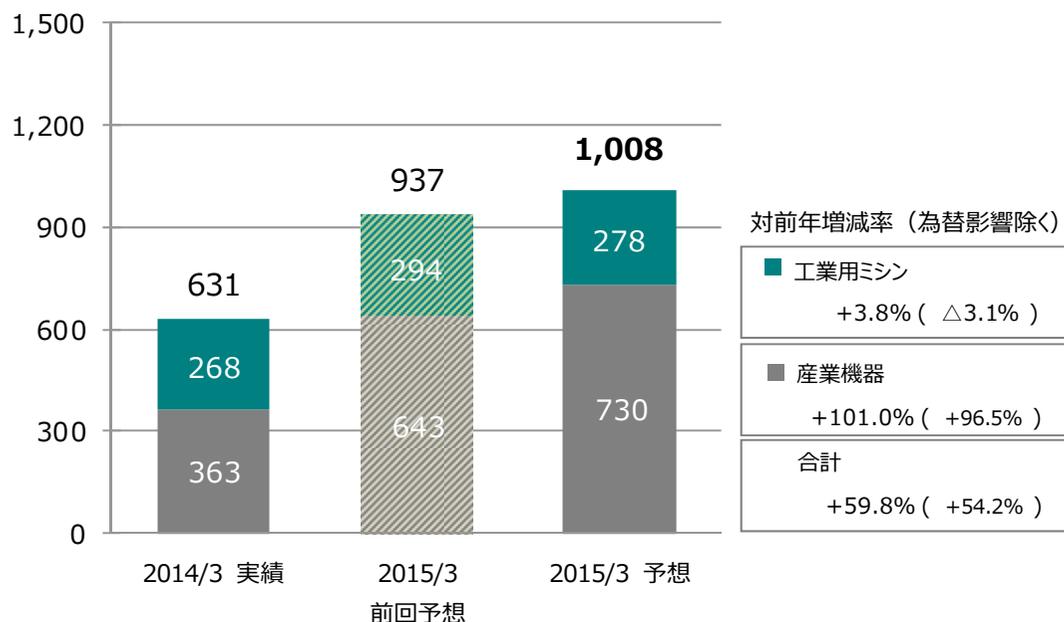
※当期における連結範囲の変更に合わせて、前期まで「日本」で表示していた数値の一部を、「アジア他」へ組み替えて表示しております。

マシナリー&ソリューション事業

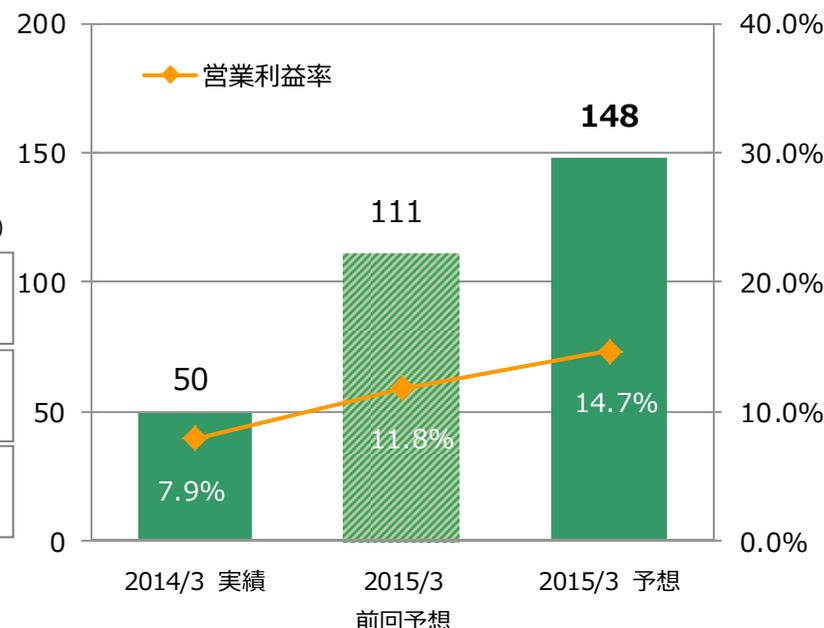
売上高・営業利益 <2015年3月期 通期予想>



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



工業用マシン 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 実績	2015/3 前回予想	2015/3 予想	対前年増減率 (為替影響除く)
米州	45	49	53	+18.0% (+10.2%)
欧州	38	43	44	+16.4% (+10.4%)
アジア他	178	196	175	△1.9% (△9.2%)
日本	7	6	6	△11.0% (△7.7%)

産業機器 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 実績	2015/3 前回予想	2015/3 予想	対前年増減率
米州	21	27	28	+28.6%
欧州	16	23	23	+47.8%
アジア他	282	536	620	+120.0%
日本	44	57	59	+33.8%

前回からの変更点

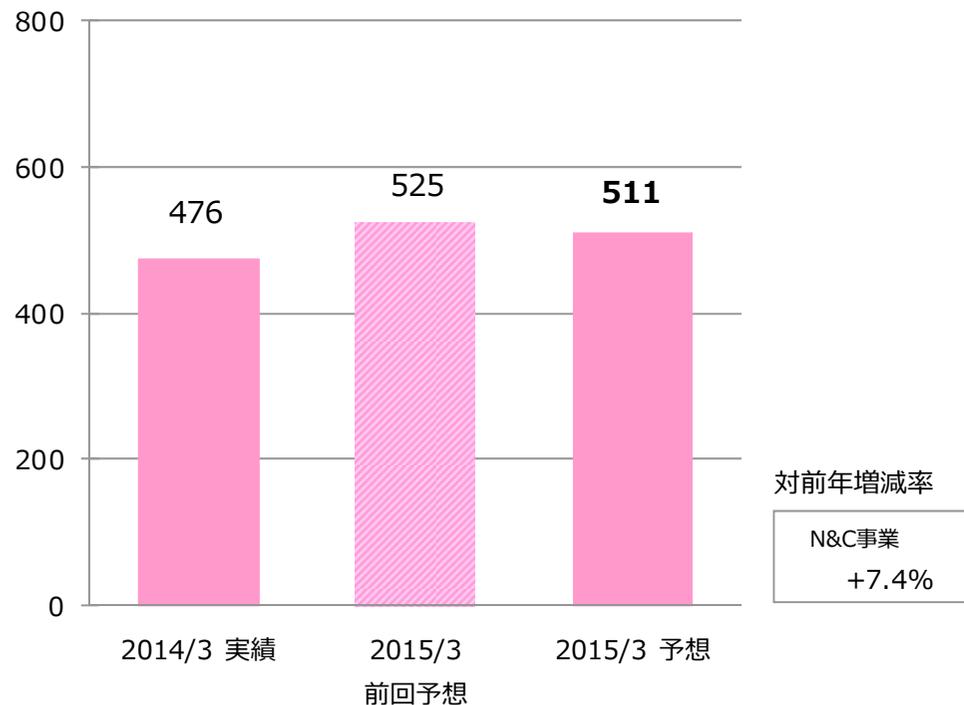
- 工業用マシンは、足下の状況を踏まえ、主に東南アジア向けの見通しを引き下げ
- 産業機器は、IT関連顧客からの需要拡大に伴い、見通しを引き上げ
- 産業機器の引き上げに伴い、利益見通しも引き上げ

※産業機器については、主に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

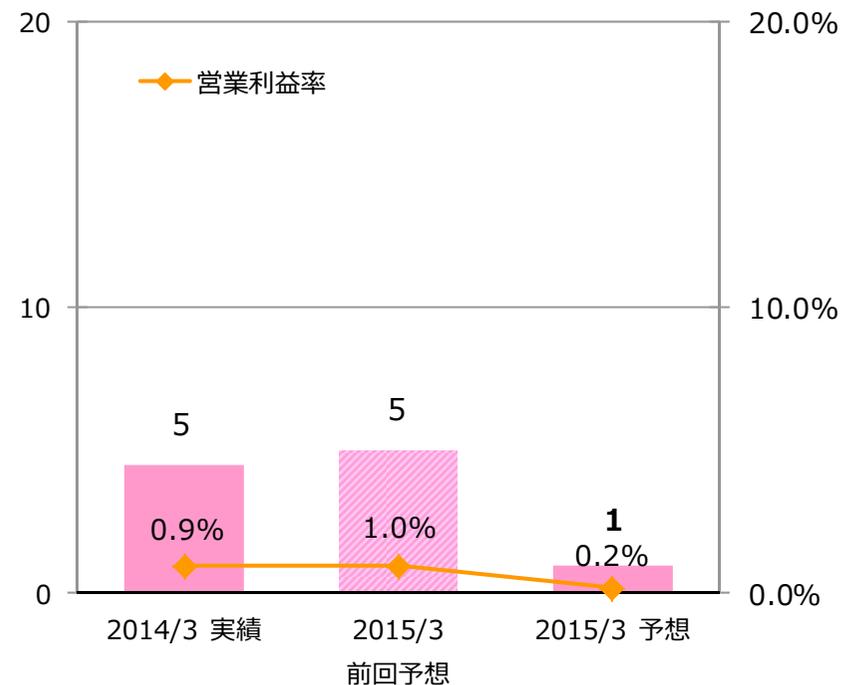
ネットワーク&コンテンツ事業 売上高・営業利益 <2015年3月期 通期予想>



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



前回からの変更点

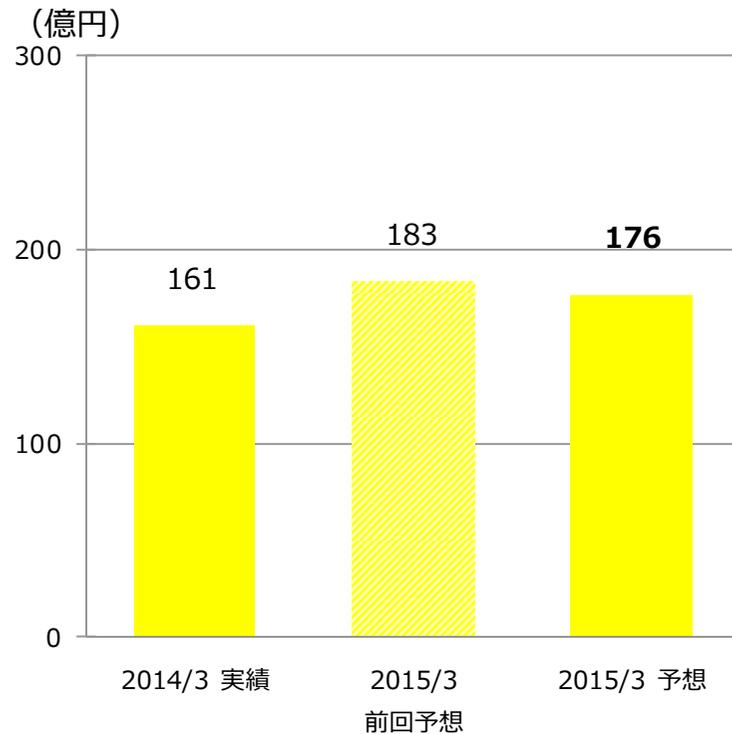
- カラオケ事業の見通しを引き下げ
- 売上の下方修正に伴い、営業利益見通しも引き下げ

※ネットワーク&コンテンツ事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

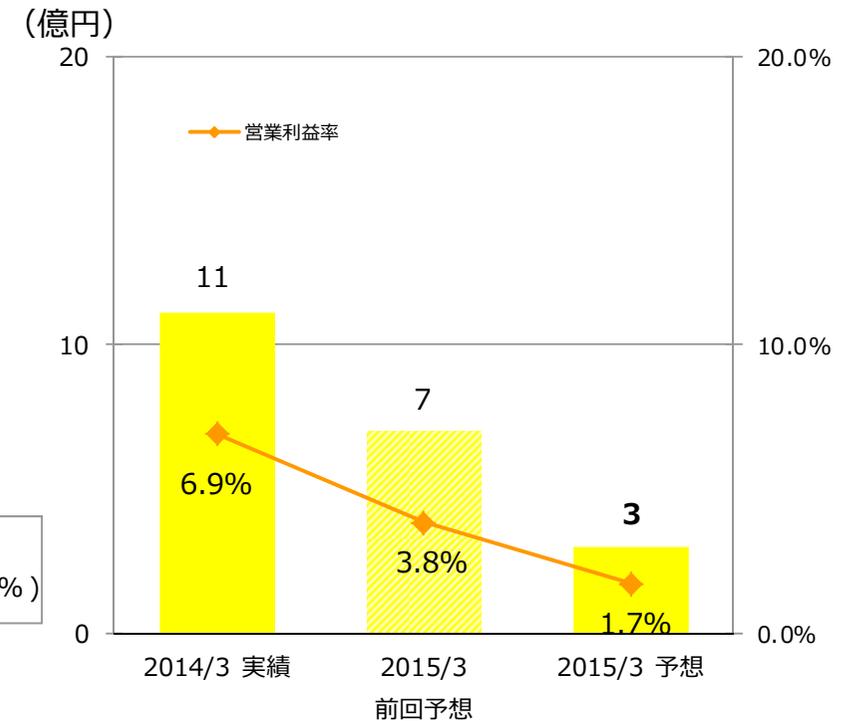
工業用部品事業 売上高・営業利益 <2015年3月期 通期予想>



売上高



営業利益



対前年増減率
工業用部品
+9.3% (+8.3%)

工業用部品 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 実績	2015/3 前回予想	2015/3 予想	対前年増減率 (為替影響除く)
米州	20	29	24	+18.4% (+12.5%)
欧州	0	0	0	- (-)
アジア他	0	5	5	- (-)
日本	141	149	147	+4.5% (+4.4%)

前回からの変更点

- 売上高は、足下の状況を踏まえ、米州での販売見通しを引き下げ
- 営業利益は、売上見通しの引き下げに加え、費用の増加も織り込み、見通しを引き下げ

連結決算の概要 <2015年3月期 3Q（10-12月実績）>



単位：億円

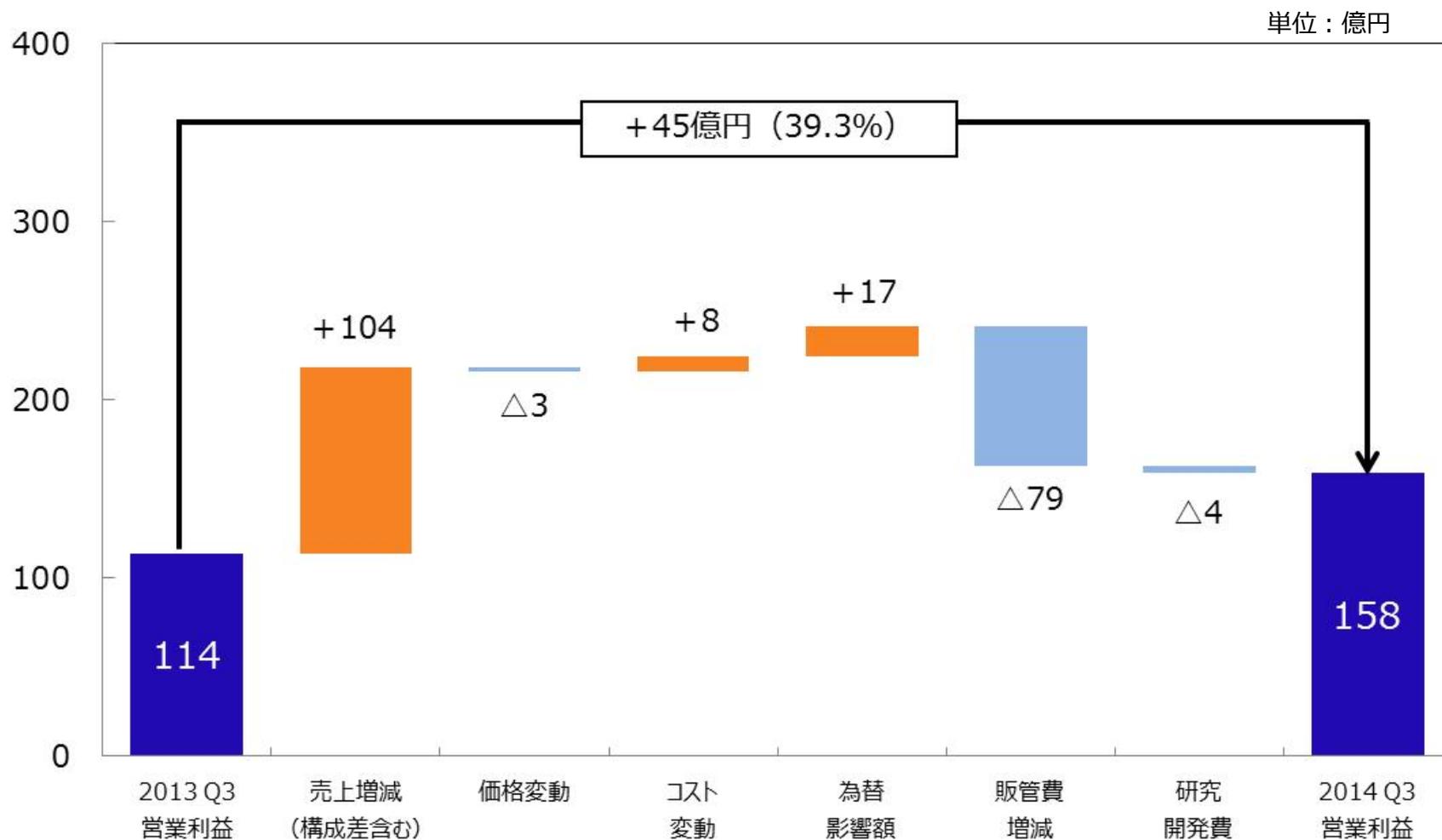
	第3四半期 3ヶ月間			
	2015/3 3Q(3ヶ月実績)	2014/3 3Q(3ヶ月実績)	増減額	増減率 ()は為替影響を 除いた増減率
売上高	1,968	1,635	333	20.3% (13.4%)
営業利益	158	114	45	39.3%
営業利益率	8.1%	7.0%	1.1%	
営業外損益	△ 11	△ 26	15	
経常利益	148	88	59	67.3%
特別損益	△ 8	4	△ 12	
法人税他	30	38	△ 9	
四半期純利益	109	53	56	104.4%

単位：円

換算レート	USD	114.39	101.02	13.37
	EUR	142.60	137.91	4.69

- ✓ 売上高は、産業機器が好調に推移したことに加え、為替の円安効果もあり、二桁の増収となる
- ✓ 営業利益は、主にM&S増収効果に加え、為替の円安効果も加わり、増益となる

営業利益増減要因 <2015年3月期 3Q (10-12月実績) >

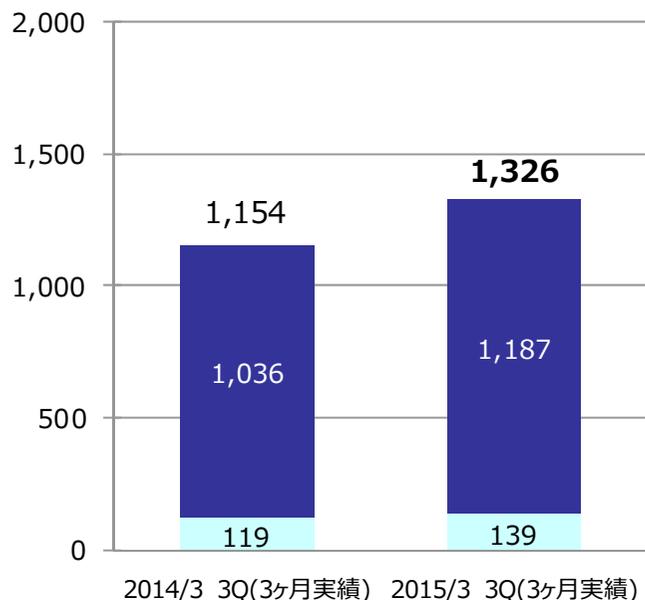


プリンティング & ソリューションズ 事業

売上高・営業利益 <2015年3月期 3Q(10-12月実績)>



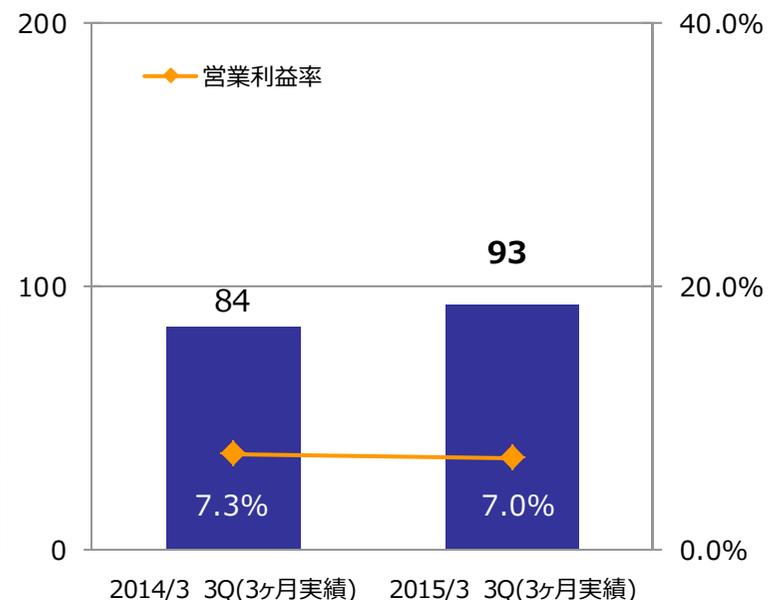
売上高 (億円)



増減率 (為替影響除く)

通信・プリンティング機器	+14.6% (+7.3%)
電子文具	+17.1% (+8.3%)
合計	+14.9% (+7.4%)

営業利益 (億円)



通信・プリンティング機器 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 3Q(3ヶ月実績)	2015/3 3Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	388	470	+21.2% (+9.0%)
欧州	380	396	+4.0% (+0.5%)
アジア他	143	188	+32.1% (+21.9%)
日本	125	133	+6.2% (+6.2%)

電子文具 地域別売上高内訳 (億円)

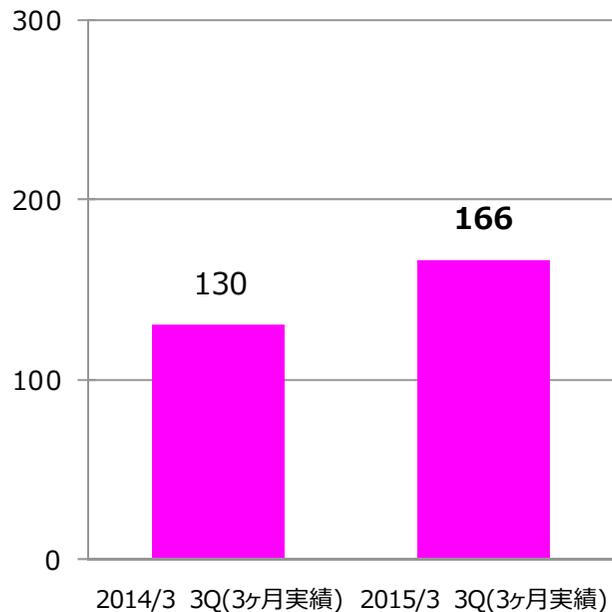
	2014/3 3Q(3ヶ月実績)	2015/3 3Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	55	66	+21.0% (+8.1%)
欧州	39	42	+7.0% (+2.6%)
アジア他	16	22	+36.6% (+26.1%)
日本	8	8	+1.0% (+1.0%)

- 各地域とも堅調に推移
日本は、インクジェットプリンターの年末需要は弱かったものの、LBPを含む全体では前年比プラスとなる
- 営業利益は、消耗品の増収および為替のプラス影響により、増益となる

※当期における連結範囲の変更に合わせて、前期まで「日本」で表示していた数値の一部を、「アジア他」へ組み替えて表示しております。

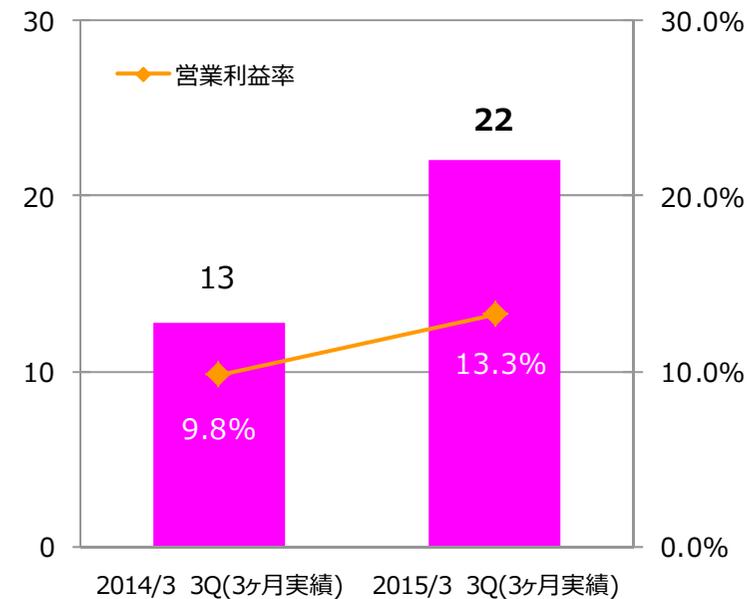
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



増減率 (為替影響除く)

家庭用ミシン
+27.9% (+17.5%)

家庭用ミシン

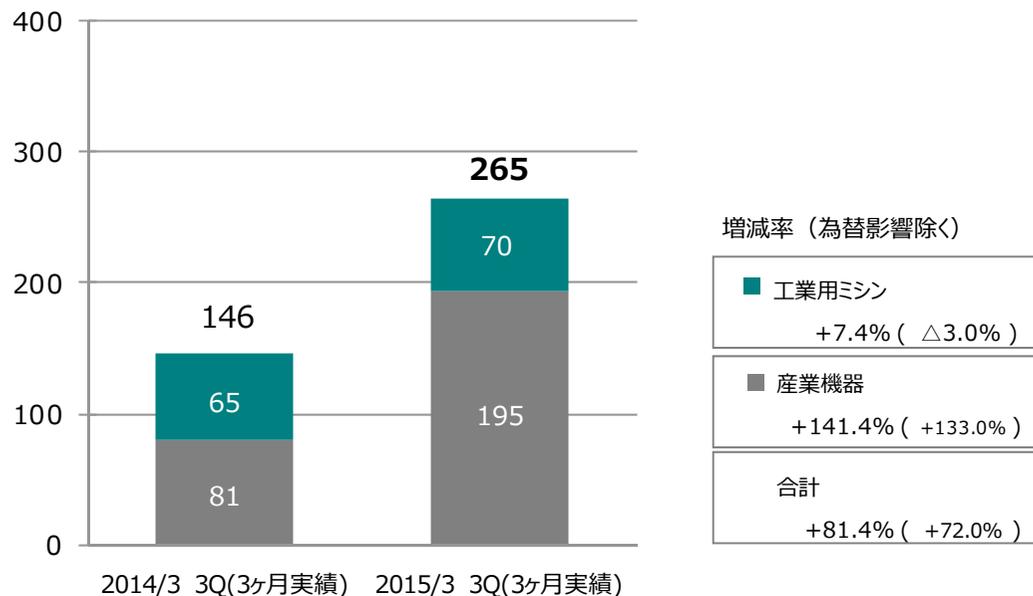
地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 3Q(3ヶ月実績)	2015/3 3Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	77	104	+34.8% (+20.2%)
欧州	30	35	+16.1% (+12.0%)
アジア他	13	18	+35.6% (+27.6%)
日本	10	10	+0.9% (+0.9%)

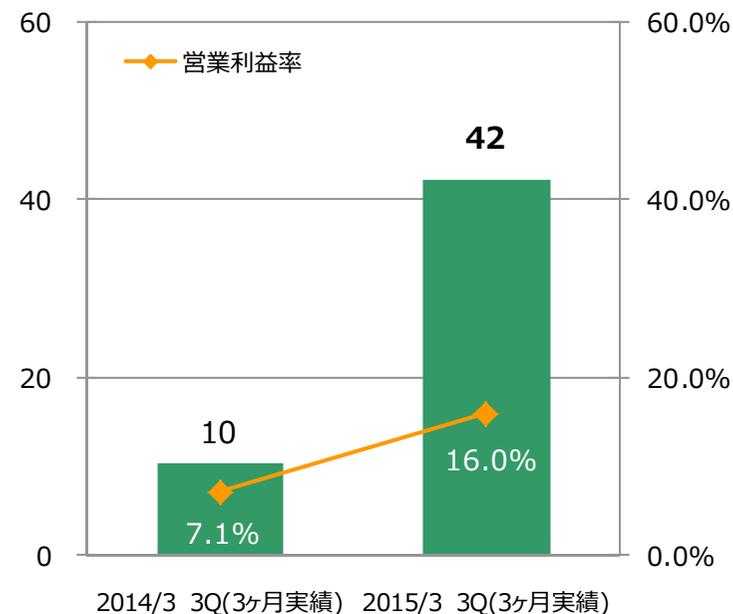
- 売上高は、高級機の新製品効果もあり、米州での売上が好調に推移
- 営業利益は、増収効果に新製品効果も加わり、大幅増益となる

※当期における連結範囲の変更に合わせて、前期まで「日本」で表示していた数値の一部を、「アジア他」へ組み替えて表示しております。

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



工業用マシン 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 3Q(3ヶ月実績)	2015/3 3Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	12	14	+12.1% (△0.4%)
欧州	9	12	+25.0% (+20.8%)
アジア他	42	43	+2.6% (△9.1%)
日本	2	2	△4.5% (△4.5%)

産業機器 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 3Q(3ヶ月実績)	2015/3 3Q(3ヶ月実績)	増減率
米州	6	8	+30.6%
欧州	6	5	△8.8%
アジア他	59	164	+180.7%
日本	10	17	+66.0%

- 工業用マシンは、東南アジア及び欧米の縫製産業の設備投資需要の拡大はあるものの、中国の需要低迷の影響が大きく、実質では前年比微減となる
- 産業機器は、IT関連顧客の需要拡大や、自動車関連顧客への販売強化の効果もあり、大幅な増収となる
- 主に産業機器の増収に伴い、大幅な増益となる

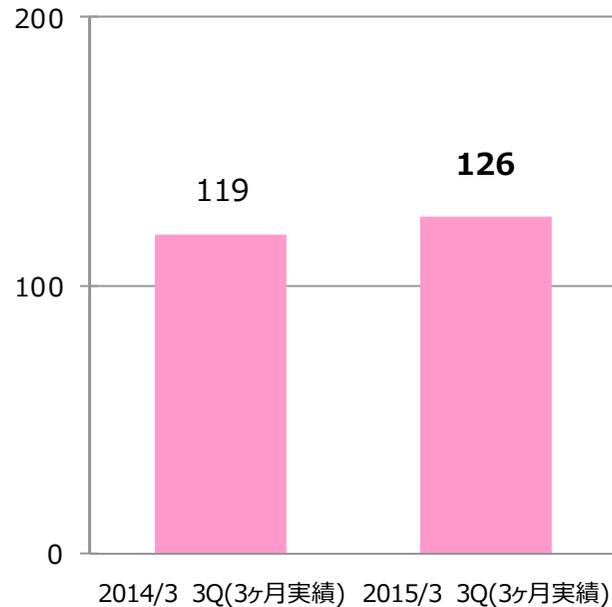
※産業機器については、主に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

ネットワーク&コンテンツ事業

売上高・営業利益 <2015年3月期 3Q(10-12月実績)>

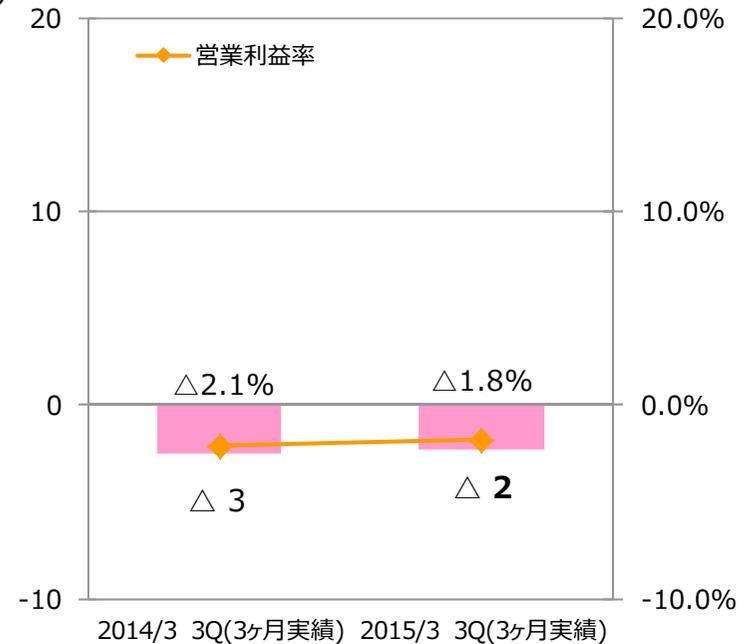


売上高 (億円)



増減率
N&C事業
+5.7%

営業利益 (億円)



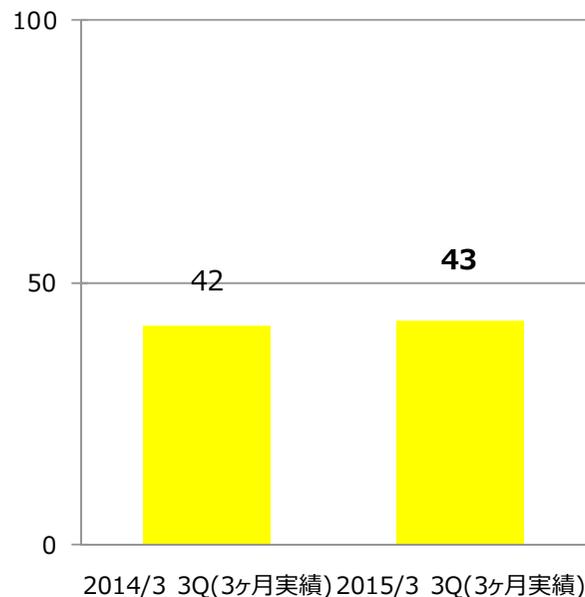
- 売上高は、カラオケ店舗の運営事業は堅調なもの、通信カラオケ機器の需要サイクルの影響もあり、小幅増収となる
- 営業利益は、機器販売の減小に加え、開発費などの費用の増加の影響もあり、赤字となる

※ネットワーク&コンテンツ事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

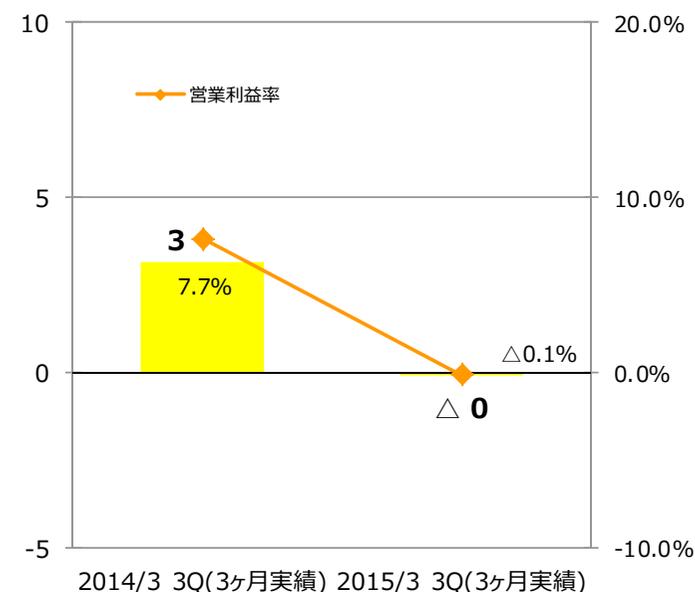
工業用部品事業 売上高・営業利益 <2015年3月期 3Q(10-12月実績)>



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



対前年増減率

+3.1% (+1.5%)

工業用部品 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 3Q(3ヶ月実績)	2015/3 3Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	5	6	+12.0% (△1.5%)
欧州	0	0	- (-)
アジア他	0	1	- (-)
日本	37	36	△1.7% (△1.7%)

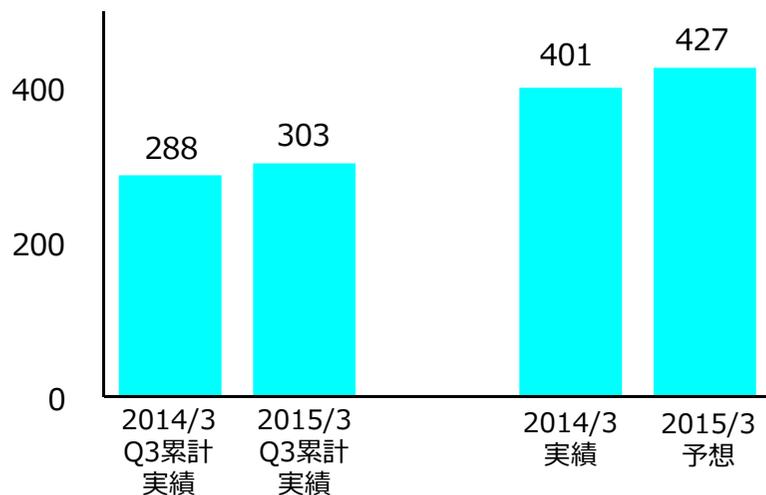
- 売上高は、ほぼ前年並みとなる
- 営業利益は、償却費などの費用の増加の影響などにより、減益となる

研究開発費・設備投資・減価償却費・棚卸資産



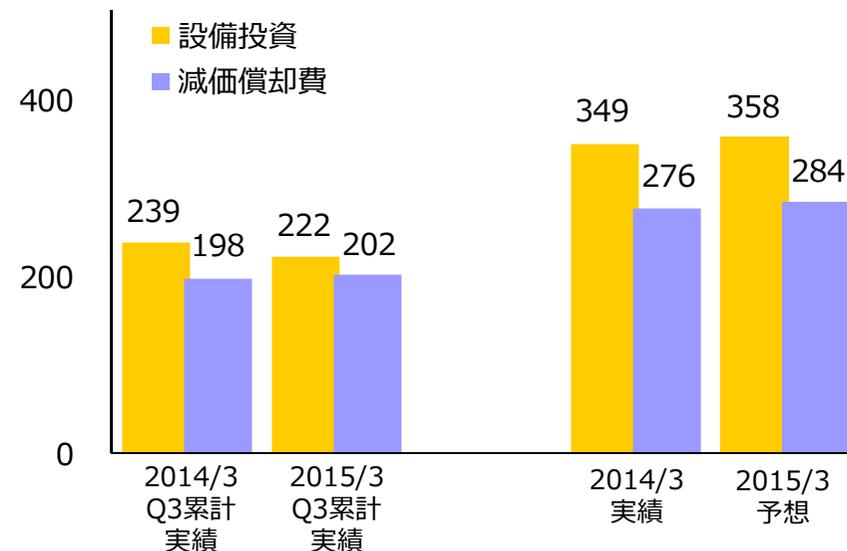
研究開発費

(億円)



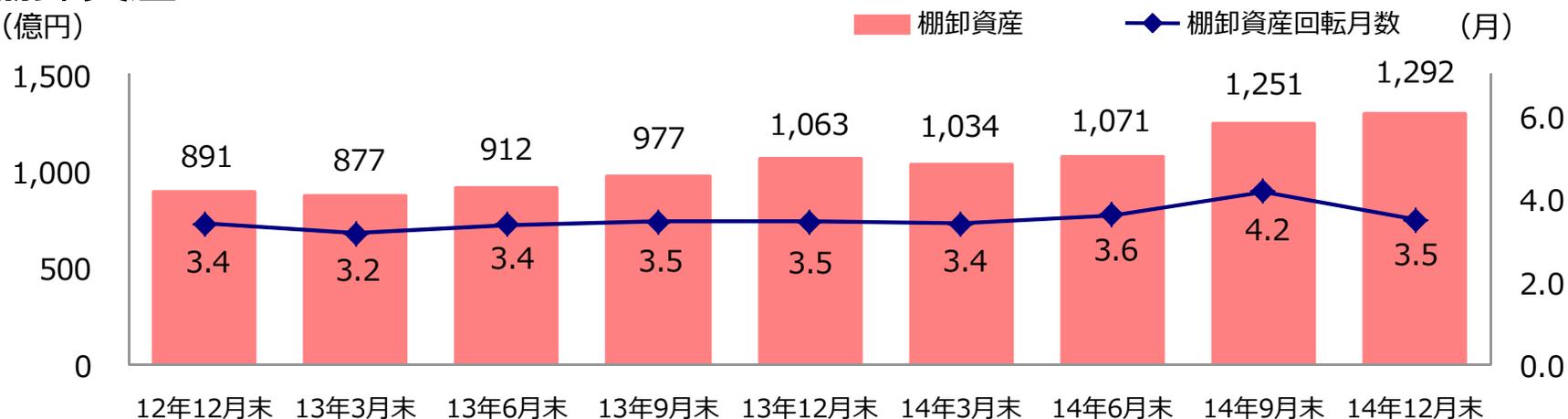
設備投資・減価償却費

(億円)



棚卸資産

(億円)



※棚卸資産回転月数 = 棚卸資産 ÷ (1ヶ月平均売上原価)

brother
at your side